

〈別冊 2〉

Ⅲ 資料編 学校研修（一般研修）参考資料

Ⅲ 資料編 学校研修(一般研修) 参考資料

1 学校研修参考資料の活用にあたって

(1) 本資料の性格

本資料は、高等学校初任者研修の手引き（P. 8）「令和2年度高等学校初任者研修年間研修計画」に基づき、各学校が学校研修計画を作成・実施するための参考として、学校研修における一般研修の内容を示したものである。

各学校においては、本資料を有効に活用し、初任者や学校及び地域の実態に応じて学校研修を行うものとする。

(2) 活用上の留意点

ア 研修内容について

(ア) 研修内容は、教員としての心構え、ホームルーム経営、教科指導、特別活動、生徒指導、進路指導、校務分掌、その他必要な事項とする。

(イ) 例示してある研修項目（P. 2）を組み合わせたり、研修内容を補充したり重点化したりするなど、初任者、学校及び地域の実態に応じて工夫する。

(ウ) 「授業参観と授業研究（1）～（3）」においては、教科指導教員以外の教員の授業参観を通して、指導力の向上を図る。

イ 研修時期について

各研修項目の実施時期については、初任者、学校及び地域の実態等に配慮し、変更しても差し支えない。ただし、その際は機関研修との関連についても配慮する必要がある。

ウ 研修時間の確保について

学校研修は、週5時間以上、年間150時間以上行うものとする。

エ 研修の実施について

本資料「3 学校研修項目及び研修内容」及び「4 学校研修（一般研修）選択研修項目例」（P. 3～13）を基に、『教師となって第一歩』等を参考にして実施する。

オ 学校研修の記録について

学校研修記録用紙（総合教育センターホームページよりダウンロード）に記録をとり、研修に使用した資料とともに3年間保管するものとする。

2 学校研修(一般研修)項目一覧

番号	学校研修(一般研修)	ページ	番号	学校研修(一般研修)	ページ
1	●教育公務員としての心構え	3	26	●生徒指導における関係機関との連携	7
2	●学校教育目標と所属校の実態		27	●基本的な生活習慣の育成を図る指導	
3	・教育課程と学習指導計画・シラバスの活用		28	・授業参観と授業研究(2)	12
4	●生徒懲戒と体罰の禁止		29	・発達障害のある生徒の理解と支援の実際(1)	8
5	●教員の一日・学校自己評価システム・人事評価制度ー自校のサービスのきまりー	30	●進路指導の実際		
6	・内規及び校則の理解	31	・教育情報資料の収集と活用		
7	●生徒との接し方	32	●家庭との連携ー家庭訪問・個人面談ー		
8	・特別活動とその指導	4	33	・主権者教育	12
9	・保健・安全指導の実際と教師のメンタルヘルスー学校健康教育指針ー		34	・授業参観と授業研究(3)	
10	・指導技術の基礎		35	・薬物乱用防止教育の推進	9
			36	・異校種交流(幼・小・中学校等との連携)	12
11	・学校における教育相談の実際	5	37	●成績不振生徒の指導(2)	9
12	●生徒理解と生徒指導の実際		38	・二学期の反省と評価	
13	・学年会の役割と運営		39	・発達障害のある生徒の理解と支援の実際(2)	
14	・環境教育の推進		40	●総合的な探究(学習)の時間の実際	
15	・授業参観と授業研究(1)	12	41	・国際理解教育の推進	10
16	●保護者会と保護者面談の実際	6	42	・人権教育の実践	
17	・情報セキュリティの確保		43	・三学期の課題と計画	
18	・校務におけるICT機器の活用		44	●ホームルーム経営の実際	
19	●評価・評定の実際		45	・入学者選抜業務の実際	
20	・学期末のホームルーム担任の実務	12	46	・情報公開と文書事務の実際・個人情報保護	11
21	●成績不振生徒の指導(1)		47	・特別活動の評価	
22	・PTA活動への参加の仕方		48	●学年末成績評価の仕方	
23	・地域社会との連携		49	・帳簿の種類とホームルーム担任の実務	
24	・一学期の反省と評価	7	50	●一年間の反省と評価	12
25	・二学期の課題と計画		51	●次年度の課題と計画	

※●は、重点指導項目を示す。

※備考:いわゆる二学期制(学年を二学期に分ける場合)をとる学校は、24・25・38・43について、学校の実態に合わせ、適切な時期及び適当な内容に読替えて実施するものとする。

番号	学校研修(一般研修)選択項目例	ページ	番号	学校研修(一般研修)選択項目例	ページ
1	読書活動の推進	13	4	学校経費及び県費外諸費に係る事務処理の実際	13
2	プレゼンテーション能力の向上		5	生徒募集の実際	
3	ボランティア活動・福祉教育の実際				

3 学校研修項目及び研修内容

番号	項目名	ねらい	内容	参考資料	機関研修項目
1	教育公務員としての心構え	教育公務員としての望ましい在り方を理解させるとともに、常に研究と修養に努める態度を養わせる。	<ul style="list-style-type: none"> 学校の教育目標達成を目指して組織の一員として協力する教師 今日的な課題を踏まえ、教科の指導とともに、全人的な教育に取り組む教師 カンセリガマイト[®]を備えた教師 自己研修に励む教師 教育公務員としての使命感・倫理観を備えた教師 		全体研修Ⅰ 「今、教師に求められるもの」
2	学校教育目標と所属校の実態	学校の教育目標に対する正しい理解を深めるとともに、所属校の実態を的確に把握することが教育活動を円滑に進め、教育効果を高めるためには不可欠であることを理解させる。	<ol style="list-style-type: none"> 学校教育目標の理解 <ol style="list-style-type: none"> 学校教育に係る法令・規則等 所属校の教育目標・重点目標・努力目標等 教職員評価システムとの関連 所属校の実態 <ol style="list-style-type: none"> 生徒、保護者、地域社会の実態 地域社会との連携 学習指導、生徒指導、進路指導、ホームルーム経営等の基本方針 	教職員評価システム職員用リーフレット/ 埼玉県立学校職員の人事評価に関する規則	全体研修Ⅱ 「学校評価と人事評価」
3	教育課程と学習指導計画・シラバスの活用	学校教育目標を具現化する教育課程の役割や意義について、所属校の実態に即して理解するとともに、学習指導計画・シラバスを作成させる。	<ol style="list-style-type: none"> 教育課程の理解 <ol style="list-style-type: none"> 法的根拠 学習指導要領の総則及び特別活動、関係教科 所属校の教育課程の特色 学習指導計画 <ol style="list-style-type: none"> 年間指導計画 単元目標及び指導内容 学習指導案の作成 <ul style="list-style-type: none"> 目標・指導の展開（教師の指導と生徒の学習活動） 評価等 シラバス その他 総合的な学習の時間 	学習指導要領 指導の重点・努力点	教科別研修Ⅰ
4	生徒懲戒と体罰の禁止	人権を尊重し、信頼関係に立つ教育を推進するためには、体罰等は絶対にあってはならないものである。生徒の人間としての成長を促すための懲戒の在り方と体罰によらない生徒指導の在り方を認識させる。	<ol style="list-style-type: none"> 懲戒の在り方 <ol style="list-style-type: none"> 生徒懲戒の目的と種類 <ul style="list-style-type: none"> 事実行為としての懲戒 法的効果をともなう懲戒 配慮事項 懲戒権の限界 体罰等の禁止 <ol style="list-style-type: none"> 法的根拠 体罰等により失われるもの 体罰等と教師の責任 体罰等の根絶に向けての取組 	I's2019～いじめ・自殺・暴力行為対応ハンドブック～/ 体罰の根絶をめざして (H25.9 県教委) / 生徒指導提要 (H22.3 文科省) / 一人一人を大切に信頼関係に立つ教育の推進運動 (R1) /	全体研修Ⅰ 「服務規律と不祥事防止」 「勤務時間、休暇等」 全体研修Ⅱ 「いじめ等生徒指導上の諸課題の理解と対応」

番号	項目名	ねらい	内容	参考資料	機関研修項目
5	教員の一・学校自己評価システム・人事評価制度 ー自校のサービスのきまりー	全体の奉仕者として、公共の利益のために勤務する公務員としての在り方・接遇のマナーについて、具体的な事例に基づいて理解させる。さらに、学校自己評価システム、人事評価制度について理解させる。	1 服務に関する法規と服務義務の内容 2 所属校における服務上の諸規定・諸届 3 教員としてのマナー ・言葉遣い（生徒・保護者・外部の方々への対応） ・電話のかけ方 ・時間厳守等 4 学校自己評価システム 5 人事評価制度 6 総務事務システム 7 備品等の管理	埼玉県教育関係職員必携	全体研修Ⅰ 「服務規律と不祥事の防止」 「服務について」 全体研修Ⅱ 「教員の接遇」 全体研修Ⅱ 「学校評価と人事評価」
6	内規及び校則の理解	学校教育の円滑な運用を目的として、学校という組織を適正に管理運営していくために定められている内規及び校則について、具体的に理解させる。	・内規及び校則の根拠・意義 ・所属校の内規及び校則の内容	児童の権利に関する条約/ 内規 生徒手帳	
7	生徒との接し方	教師と生徒は、信頼・尊敬・愛情を基礎とする人間関係で結ばれていることが大切であることを理解させる。	・積極的、意図的な語りかけと生徒の把握 ・名前の記憶 ・生徒のほめ方・しかり方 ・生徒とともに学ぶ姿勢 ・生徒理解の方法	生徒指導提要(H22.3 文科省) 生徒指導リーフシリーズ(H24.2~国立教育政策研究所)	授業力向上研修Ⅰ 「学校カウンセリング概論」
8	特別活動とその指導	特別活動は、集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質・能力を育成することを目指している。その認識の上に、特別活動の具体的な内容についての理解を深める。	1 特別活動の内容とその意義 ・ホームルーム活動 ・生徒会活動 ・学校行事 2 所属校における特別活動	学習指導要領 生徒指導提要(H22.3 文科省) / 生徒指導リーフシリーズ(H24.2~国立教育政策研究所) /	集団活動体験研修 「心をひらくアドベンチャー教育」
9	保健・安全教育の実際と教師のメンタルヘルス ー学校健康教育指針ー	生徒自らが生涯にわたって、健康で安全な生活を主体的に営むことができるよう、その指導の在り方について理解させる。また、教職員自らの健康管理の在り方について理解させる。	1 保健教育の充実 ・心の健康、性に関する指導等 ・養護教諭との連携 2 保健管理 ・心身の健康管理 ・学校環境衛生活動の推進 3 学習環境づくり 4 安全教育と安全管理 ・施設設備の管理と安全点検 ・事故発生に伴う適切な処置（危機対処・応急手当・AEDの取扱い） ・交通安全(自動二輪車等の指導を含む) ・避難訓練等 5 教師のメンタルヘルス ・教職員こころの健康相談	学校健康教育必携20(R2県教委) / 喫煙、飲酒、薬物乱用防止に関する指導参考資料(高等学校編)(H23 日本学校保健会) / 生徒指導提要(H22.3文科省) /	授業力向上研修Ⅰ 「教員のメンタルヘルス」
10	指導技術の基礎	生徒の学習意欲を一層高め、効果的に授業を進めるための指導技術を身につけさせる。	・教師の発問、指示、指名と生徒の反応 ・教師からの効果的な働きかけ（肯定、否定、助言、激励、援助） ・机間指導の在り方 ・効果的な板書の仕方 ・課題指示と事後処理		教科別研修

番号	項目名	ねらい	内容	参考資料	機関研修項目
11	学校における教育相談の実際	学校における教育相談に対する正しい理解を深めるとともに、教育相談の理論や進め方について、具体的な事例をとおして体験させ、生徒一人一人の成長への援助の在り方を理解させる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校教育相談の特質・意義 2 教育相談の進め方 <ol style="list-style-type: none"> (1) 教育相談的な態度（教師のカウンセリングマインド） (2) 面接相談の方法と留意点 3 学習指導に生かす教育相談的配慮 <ul style="list-style-type: none"> ・内容と方法 4 ホームルーム担任、教科担任、養護教諭、教育相談係との連携 	生徒指導提要（H22.3 文科省）/ 生徒指導リーフシリーズ（H24.2～国立教育政策研究所）/ 児童生徒の教育相談の充実について（H29.1文科省）/	授業力向上研修Ⅰ「学校カウンセリング概論」 全体研修Ⅲ・Ⅳ「生徒指導・教育相談初級」
12	生徒理解と生徒指導の実際	あらゆる教育活動において、生徒理解がまず大切であることを認識させ、生徒指導の意義や方法について理解させる。特に、カウンセリングマインドに立つ生徒指導の方法を身につけさせる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒理解の方法 <ol style="list-style-type: none"> (1) 資料収集の方法：観察、面接、調査、検査、作文等 (2) 家庭との連携 (3) 授業や特別活動をとおした生徒理解 2 生徒指導の実際 <ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒指導組織と各教師の役割 (2) 集団指導の在り方、個別指導の在り方 (3) 生徒との望ましい人間関係の醸成 (4) 他の教師や家庭との連携による一貫した指導の重要性 (5) 毅然とした指導 (6) 清掃活動等をとおした生徒指導 3 いじめ問題の理解と対応 	児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果（H30県教委）/ 生徒指導提要（H22.3 文科省）/ 生徒指導リーフシリーズ/ 生徒指導支援資料1～6（H21.6～H28.6国立教育政策研究所）/ いじめの防止等のための基本的な方針（H29.5改文部科学大臣決定）/ 埼玉県いじめの防止等のための基本的な方針（H29.7改埼玉県）/ 学校教育における自殺予防（H28.7県教委）/	全体研修Ⅱ「いじめ等生徒指導上の諸課題の理解と対応」 全体研修Ⅱ「長期欠席・不登校の理解と対応」
13	学年会の役割と運営	学校運営において、学年会が果たす役割や働きについて、具体的に理解させ、学年会に積極的に参画する態度を養わせる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校の運営方針・教育目標と学年会の運営 2 学年会の役割とその働き <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習指導、生徒指導の取組 (2) 学校行事、学年行事 (3) 事務分担 (4) 研修、情報交換 		
14	環境教育の推進	環境教育の目的は、生徒が環境への理解を深め、環境保全に向けた責任ある行動力及び態度を養うことにある。このことを理解し、総合的な探究（学習）の時間等での活用の仕方を考えさせる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境教育の目的と意義 2 環境教育の進め方 <ol style="list-style-type: none"> (1) 教科における取組 (2) 特別活動・総合的な探究（学習）の時間等における取組 (3) 学校としての取組 (4) 地域と連携した取組 	埼玉の子ども70万人体験活動における「高等学校体験活動」	施設体験研修Ⅰ 全体研修Ⅵ「持続可能な開発のための教育（ESD）」

番号	項目名	ねらい	内容	参考資料	機関研修項目
16	保護者会と保護者面談の実際	保護者との連携を深める有効な方法として、保護者会を活用・実施し、保護者との連携を深めさせる。また生徒の個性の伸長を図り、将来における自己実現に役立つ資質を育成するためには、学校と家庭が密接な連携を保ちながら相互の理解と信頼関係の上に立った教育を進めることが大切であり、その一環として保護者面談の在り方・進め方について正しく理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会の目的と効果 保護者会の開催時期と開催の事務手続き 保護者会の内容と事前準備 保護者への対応の仕方 保護者との話し合いのマナー 保護者の考え方の理解 学校の指導方針の伝え方 生徒の個性・適性・能力に応じた指導の在り方 面談資料の収集と活用 	保護者会資料	テーマ別研修Ⅲ 「保護者との関わり方」 全体研修Ⅶ 「学級（ホームルーム）経営の進め方」
17	情報セキュリティの確保	学校では児童・生徒の個人情報情報を多数保有しており、情報セキュリティ事故による個人情報の漏えいを防止するために、情報セキュリティの重要性及び具体的対策を理解させる。	1 情報セキュリティの概要 2 情報セキュリティ事故の主な防止策 (1) 情報機器の管理 (2) 重要情報の持ち出し (3) 電子メール送信時のチェックポイント (4) 標的型攻撃メール (5) ウイルス対策	埼玉県情報セキュリティポリシー/ 情報セキュリティ共通実施手順/ 「県立学校における情報の取扱基準」について(H21.3教総第1530号)/ 所属校のセキュリティポリシー資料/	
18	校務におけるICT機器の活用	ICT機器の特性を理解し、指導の効果を高める方法や活用する上での配慮点について理解させる。	1 学習指導の準備と評価のための教師によるICT活用 <ul style="list-style-type: none"> 教育効果をあげるためのICT活用の計画 授業で使う教材や資料等を収集するためのICT活用 授業に必要なプリントや提示資料を作成するためのICT活用 評価を充実させるためのICT活用 2 授業での教師によるICT活用 <ul style="list-style-type: none"> 学習に対する生徒の興味・関心を高めるためのICT活用 生徒一人一人に課題を明確につかませるためのICT活用 わかりやすく説明したり、生徒の思考や理解を深めたりするためのICT活用 学習内容をまとめる際に児童生徒の知識の定着を図るためのICT活用 3 生徒によるICT活用 <ul style="list-style-type: none"> 生徒が情報を収集したり選択したりするためのICT活用 生徒が自分の考えを文章にまとめたり、調べたことを表や図にまとめたりするためのICT活用 生徒がわかりやすく発表したり表現したりするためのICT活用 生徒が繰り返し学習したり練習したりして、知識の定着や技能の習熟を図るためのICT活用 	Google for Education	教科別研修
19	評価・評定の実際	指導と評価は表裏一体をなすものである。評価・評定の意義を理解させる。	評価・評定の意義と具体例 (1) 評価と評定に対する考え方 (2) 診断的評価、形成的評価など評価の種類と特色 (3) 指導方法と評価 (4) 評価・評定の仕方と学習意欲	内規集	教科別研修
20	学期末のホームルーム担任の実際	長期休業中の生徒への注意の仕方、学期末の諸表簿を整理し、教科担任等との連家の仕方、保護者対応について理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> 学期の振り返りと長期休業前の生徒への連絡等 教科担当との連携 成績不振生徒の保護者対応 	諸表簿等	全体研修Ⅶ 「学級（ホームルーム）経営の進め方」

番号	項目名	ねらい	内容	参考資料	機関研修項目
22	P T A活動への参加の仕方	P T A活動の意義を理解させるとともに、所属校のP T A活動の実際について理解を深めさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ P T A活動の意義 ・ 所属校におけるP T A組織 ・ 所属校におけるP T Aの諸活動 	PTA総会資料 PTA広報誌	
23	地域社会との連携	地域社会や世界に向き合い関わる活動を通じた探究的な学びの実際について理解させる。地域の人的・物的資源を活用したり、社会教育との連携を図る術を理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に信頼される学校づくり ・ 専門的人材の活用 ・ 社会に開かれた教育課程 ・ カリキュラム・マネジメント 		
24	一学期の反省と評価	一学期の終わりに当たり、学習指導、生徒指導、ホームルーム指導等の観点から評価を行い、二学期に向けて指導方法の改善等を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の学校生活への適応状況 ・ 生徒の学習意欲と学習指導の関係 ・ 生徒理解と生徒指導の関連 ・ 教師と生徒、生徒相互の望ましい人間関係とホームルーム経営の状況 ・ 部活動指導 	行事予定表	
25	二学期の課題と計画	一学期の評価に基づき、学習指導、生徒指導、ホームルーム指導等の観点から二学期の課題を設定するとともに、課題解決のための具体的な指導計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導の重点目標 ・ 学校行事等への積極的参画 ・ 学習指導の課題と指導計画 ・ 生徒指導の課題と指導計画 ・ ホームルーム指導の課題と指導計画 ・ 部活動指導計画の課題と指導計画 	行事予定表	
26	生徒指導における関係機関との連携	効果的な生徒指導を展開するには、地域や関係機関との連携が不可欠である。学校の実態に応じた望ましい連携の在り方について理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の学校警察連絡協議会（学警連）小・中・高等学校等合同生徒指導委員会の役割 ・ 総合教育センター指導相談担当、精神医療センター等との連携の在り方 ・ 福祉事務所、民生委員・児童委員等との連携の在り方 ・ 警察（生活安全課）との連携の在り方 ・ その他の関係機関等との連携の在り方 	生徒指導提要（H22.3 文科省）/ 生徒指導リーフシリーズ/ 一人一人を大切に信頼関係に立つ教育の推進運動（R01）/ I's2019～いじめ・自殺・暴力行為対応ハンドブック～/	
27	基本的な生活習慣の育成を図る指導	生徒一人一人の人格のよりよい形成を目指し、有意義かつ充実した学校生活を送らせ、また、生徒の問題行動を防止する指導として、基本的な生活習慣の育成を図ることが大切である。所属校の実態に応じた取組について理解させる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 基本的な生活習慣の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣の育成とその意義 ・ 学校教育と家庭教育の関係 2 指導の在り方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 所属校の実態把握と情報交換の必要性 ・ 計画的・継続的な指導 ・ 生徒理解と教師の姿勢 ・ 家庭や地域社会との緊密な連携 	生徒指導提要（H22.3 文科省）	全体研修IV 「ソーシャルスキル概論」

番号	項目名	ねらい	内容	参考資料	機関研修項目
29	発達障害のある生徒の理解と支援の実際(1)	特別な支援を必要とする生徒について正しく理解し、それぞれの障害の特性や程度、個々のニーズに応じた支援や指導について考え、実践できるようにする。	<ol style="list-style-type: none"> 1 インクルーシブ教育システム概要 2 発達障害の理解 3 ADHDの理解とその支援 4 広汎性発達障害の理解とその支援 5 LDの理解とその支援 	県立特別支援学校のセンター的機能ガイドライン (H21.3県教委) 個別の教育支援計画・個別の指導計画を活用した指導事例集(H21県教委) 埼玉県特別支援教育指導資料【自立活動の指導資料】(H22県教委) ほんとうのわたしを見つけて(H22県教委) 総合教育センター研究報告書第323号 総合教育センター研究報告書第364号 総合教育センター研究報告書第395号	テーマ別研修Ⅰ 「インクルーシブ教育システム推進研修」 全体研修Ⅴ 「発達障害のある生徒の理解と支援」
30	進路指導の実際	生徒自らの進路を主体的に選択する能力や態度を十分に育成できるよう指導・援助していくためには、計画的・組織的な進路指導が不可欠である。所属校の実態に即し、進路指導の在り方を理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導計画 ・進路指導の組織と各教師の役割 ・生徒の将来に対する目的意識や自己決定能力を高める援助活動 ・進路指導上の留意点 ・キャリア教育と進路指導 	進路の手引/ 県立高校「キャリア教育」指導資料(H21.3県教委)	テーマ別研修Ⅲ 「キャリア教育の意義と進め方」 「進路指導の意義と進め方」
31	教育情報資料の収集と活用	教育活動を効果的に進めるためには、学習指導、生徒指導、進路指導、ホームルーム経営等に係る教育情報資料を十分に生かしていくことが大切である。必要な情報を積極的に収集、整理するとともに、事例をとおして活用していく態度の必要性を理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育情報資料の収集と活用に関する事例研究 ・教育情報資料の取扱い方法 	彩の国教育情報化推進計画	全体研修Ⅴ 「情報モラル教育の推進」
32	家庭との連携 —家庭訪問・個人面談—	学校の教育活動は、日頃から家庭・保護者の理解・協力を得てこそ、より高い成果を上げることができる。必要に応じて、家庭への連絡・家庭訪問・保護者招請等により、生徒の生活状況や保護者の意識等を把握しつつ、学校や担任の教育方針について理解を求めることも重要であることを認識させる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 日頃の連携の方法 <ul style="list-style-type: none"> ・諸通知、諸届け等、ホームルーム通信の発行、公開授業 2 家庭への連絡、家庭訪問、保護者招請の必要な場合 3 家庭訪問等における留意事項 <ul style="list-style-type: none"> ・事前準備 ・保護者への対応の仕方 ・記録 ・校長、教頭、学年主任等への報告 ・守秘義務 	生徒指導提要(H22.3文科省)	テーマ別研修Ⅲ 「保護者との関わり方」
33	主権者教育	主権者として社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員の一員として主体的に担う力を育む主権者教育について理解させる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 主権者教育の現状と課題 2 主権者教育の実践 3 主権者教育の指導上の留意点 	副教材「私たちが拓く日本の未来(H27文科省・総務省)	

番号	項目名	ねらい	内容	参考資料	機関研修項目
35	薬物乱用防止教育の推進	生徒自らが、健康で安全な生活を営むことができる能力を育成するため、ホームルーム担任が行う日々の指導における健康・安全面についての配慮の在り方を理解させる。	1 覚せい剤等薬物乱用の現状と課題 2 覚せい剤等薬物乱用の身体への影響 3 指導の在り方・保健主事・養護教諭との連携・関係機関との連携	学校健康教育必携20(R2県教委)/ I's2019～いじめ・自殺・暴力行為対応ハンドブック～/	
36	異校種交流(幼・小・中学校等との連携)	地域の幼・小・中学校との交流をとおして、異校種間の連携を強化し、地域に根ざした高等学校としての存在意義を理解させる。	1 学校概要 2 児童・生徒指導 3 進路指導 4 授業参観 5 部活動見学		
38	二学期の反省と評価	一学期の評価に基づき、学習指導、生徒指導、ホームルーム指導等の観点から二学期の課題を設定するとともに、課題解決のための具体的な指導計画を立てさせる。	・指導の重点目標 ・学校行事等への積極的参画 ・学習指導の課題と指導計画 ・生徒指導の課題と指導計画 ・ホームルーム指導の課題と指導計画 ・部活動指導計画の課題と指導計画	二学期の行事計画	
39	発達障害のある生徒の理解と支援の実践(2)	通級指導の実態を理解し、生徒にどう生かすかを考える。障害者雇用の実態を知り、生徒指導に活かす。	1 通級指導の理解と指導 ・通級指導の実際 ・通級指導の進め方 ・特別支援コーディネーターの役割 2 障がい者雇用の理解と指導 ・障がい者雇用の実際 ・キャリア教育の進め方	通級指導の手引き(埼玉県教育委員会H20.3) 埼玉県教育委員会における障害者雇用の推進方策について(最終報告)(障害者雇用推進委員会H31.2)	
40	総合的な探究(学習)の時間の実際	総合的な探究(学習)の時間の職員間の連携や地域社会との連携など、各学校の特色ある学校づくりの一環としての総合的な探究(学習)の時間の意義を理解させる。	1 所属校における総合的な学習について ・設定の背景 ・ねらい ・年間指導計画 ・各教科等との関連 ・評価 2 地域社会との連携 ・地域環境との関連 ・地域人材の活用 ・配慮事項	高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説【総合的な探究の時間編】(文科省H30.7)	
41	国際理解教育の推進	国際理解教育の基本的課題について理解させ、所属校における具体的な取組とその課題について研修させる。	1 国際理解教育の基本的課題・国際社会において活躍し、尊敬される日本人の育成 2 国際理解教育の推進 ・具体的な目標の設定(生徒の発達段階や各教科、特別活動、総合的な探究(学習)の時間等の特質に応じた、自国の文化への誇りや伝統の認識) ・具体的、継続的な指導の実践(教育課程や授業内容の見直し、校務分掌への位置付け等) ・ALTとの望ましい連携の在り方		全体研修VI「持続可能な開発のための教育(ESD)」 全体研修VI「国際理解について」

番号	項目名	ねらい	内容	参考資料	機関研修項目
42	人権教育の実践	人権意識の高揚を図り、人権についての正しい理解を図るとともに、人権教育の意義を認識し、計画的、総合的な人権教育の進め方について研修させる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 人権教育のねらいの確認 2 人権教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・自校の人権課題の明確化と全教職員の共通理解 ・生徒や地域の実態把握とそれに即した指導 ・生徒の発達の段階に即した人権課題の正しい理解 ・生徒一人一人の人権意識の高揚 ・他者の痛みを共感できる豊かな人間性の育成 ・様々な人権課題の解決に向けて自ら行動できる人間の育成 ・全体計画と年間指導計画の作成及び活用 ・校内推進体制の確立と計画的・総合的な指導 ・幼、小、中、高、特及び関係機関との連携 ・保護者や地域の人々との理解と連携 	<p>指導の重点・努力点/ 埼玉県人権教育実施方針(H25.2県教委)/ 人権教育学習指導案集(H20～29 県教委)/ 人権教育資料指導実践の手引(H22.3県教委)/ 人権教育資料指導実践の手引(H22.3県教委)/ (学校教育編増補版)(H25.3県教委)/ (学校教育編第2集)(H31.3県教委)/</p>	全体研修VI「人権教育の意義と進め方」
43	三学期の課題と計画	二学期の評価に基づき、学習指導、生徒指導、ホームルーム指導等の観点から三学期の課題を設定するとともに、課題解決のための具体的な指導計画を立てさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導の重点目標 ・学校行事等への積極的参画 ・学習指導の課題と指導計画 ・生徒指導の課題と指導計画 ・ホームルーム指導の課題と指導計画 ・部活動指導計画の課題と指導計画 		
44	ホームルーム経営の実際	ホームルーム経営は、学校経営や学年経営の方針を受け、生徒の全人的な成長を目指して行われるものである。この成果を上げるためには、ホームルーム担任のきめ細かい指導・援助がきわめて大切であることを理解させる。	<ol style="list-style-type: none"> 1 ホームルーム経営の意義 <ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育目標達成のための基礎的単位 ・生徒の個性の伸長や人格形成に役立つ場 ・生徒と教師の相互理解と望ましい関係 ・男女共同参画社会の視点に立ったホームルーム経営 2 一人一人を生かすホームルーム経営の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態把握 ・一人一人の生徒の所属感や存在感を高める工夫 ・生徒の目的意識や進路意識を高める工夫 3 ホームルーム活動をとおした指導 <ul style="list-style-type: none"> ・人間としての在り方・生き方に関すること ・ホームルームにおける集団生活の充実と向上に関すること ・個人及び社会の一員としての自覚を深めること ・将来の生き方と進路の適切な選択決定に関すること 	<p>ホームルーム指導計画 生徒指導提要(H22.3 文科省)</p>	<p>テーマ別研修II「いじめ問題の理解と対応」 「担任としての一歩を踏み出して」 全体研修VII「学級経営の進め方」</p>
45	入学者選抜業務の実際	地域に根ざした特色ある高等学校を育成することの趣旨を踏まえ、各学校の実態や教育方針に基づいて、教育的配慮のもとに入学者の選抜に当たることを理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県公立高等学校入学者選抜の基本方針 ・所属校における入学者選抜の実際 ・留意事項 	平成31年度埼玉県公立高等学校入学者選抜実施要項・入学者選抜要領等	

番号	項目名	ねらい	内容	参考資料	機関研修項目
46	情報公開と文書事務の実際・個人情報保護	情報公開について、その概要と意義を理解させる。また、教員が行う文書事務について、具体的な事例に基づいて理解させるとともに、諸表簿の法的な根拠とその作成・保管上の留意事項について理解させる。また、個人情報保護についても理解させる。	<ol style="list-style-type: none"> 情報公開について <ul style="list-style-type: none"> 情報公開制度の概要 個人情報の保護 情報公開への学校の対応 学校における文書事務の流れ <ul style="list-style-type: none"> 公文書の意義 起案、回議、決裁 ファイリングシステムの実際 情報公開に係る事務 諸表簿の作成 <ul style="list-style-type: none"> 保管・学校教育法施行規則第15条に定める学校備付表簿 埼玉県立高等学校管理規則第26条に定める表簿のうち、特に必要と認められるもの 	埼玉県情報公開条例/ 埼玉県個人情報保護条例/ 埼玉県立学校文書管理・公印規程/ 文書事務の手引/	全体研修V 「情報モラル教育の推進」
47	特別活動の評価	特別活動は、集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、(1)多様な他者との協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付ける。(2)集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定することができるようにする。(3)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己表現を図ろうとする態度を養う。このような資質・能力を育成することを目指している。この目標達成のための適切な指導・援助がなされたか評価し、次年度の活動に備えさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ホームルーム活動 生徒会活動 学校行事 	ホームルーム指導計画 生徒会指導計画 年間行事計画 生徒指導提要(H22.3 文科省) /	集団活動体験研修Ⅰ 「心をひらくアドベンチャー教育」 テーマ別研修Ⅱ 「担任としての一歩を踏み出して」 全体研修Ⅶ 「学級(ホームルーム)経営の進め方」
48	学年末成績評価の仕方	学習指導要領の趣旨を踏まえ、定期考査のみでなく、関心・意欲・態度等学習に対する取組も含めて総合的に評価するなど、学年末評定の仕方について理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査、単元別テスト、提出物の評価について 学習への関心、意欲、態度等の評価について 生徒の達成度の評価について 		教科別研修
49	帳簿の種類とホームルーム担任の実務	ホームルーム担任が行う年度当初のホームルーム事務の処理とともに、年間をとおしたホームルーム活動を進めていく上で必要な事務等を的確に処理できるようにする。	<ol style="list-style-type: none"> 年度当初における諸表簿の作成及び整理 <ol style="list-style-type: none"> 生徒指導要録 健康診断票 歯の検査票 生徒、家庭にかかわるもの その他 一年間を見通して行う主なホームルーム事務の理解と処理 <ol style="list-style-type: none"> 教育指導に係る事務 出席簿等の記入、整理、保管 調査、統計、報告 その他の事務 	学校要覧 生徒指導提要(H22.3 文科省) /	全体研修Ⅶ 「学級(ホームルーム)経営の進め方」

番号	項目名	ねらい	内容	参考資料	機関研修項目
50	一年間の反省と評価	1年間の学習指導、生徒指導、ホームルーム指導、校務分掌等の教育活動や指導方法の評価を行い、次年度への引き継ぎ事項を整理させる。	<ul style="list-style-type: none"> 教育目標、指導の重点・努力点等の達成状況 学習指導の評価 生徒指導、ホームルーム指導等の評価 	指導の重点・努力点 初任者研修学校研修計画書 学校研修記録	テーマ別研修Ⅱ 「担任としての一歩を踏み出して」 全体研修Ⅶ 「学級（ホームルーム）経営の進め方」
51	次年度の課題と計画	1年間の教育実践に対する評価に基づき、次年度の目標、努力点を設定させ、目標設定のための計画を立てさせる。所属校の課題と自分の果たすべき役割について理解と自覚を深めさせる。	1 年間指導計画の作成 <ul style="list-style-type: none"> 指導内容の精選と明確化 授業時数の確保 指導計画の改善点と明確化 2 所属校の課題・学習指導の課題 <ul style="list-style-type: none"> 生徒指導の課題 進路指導の課題 ホームルーム経営の課題 	生徒指導提要（H22.3 文科省）/ 児童生徒の教育相談の充実について（H29.1 文科省）/	
15 28 34	授業参観と授業研究(1)～(3)	初任者の担当教科以外の先輩教師の授業を参観させることにより、授業内容や方法等について初任者の教科指導の参考とさせる。	1 授業参観・生徒の立場に立った教師の言動の在り方 <ul style="list-style-type: none"> 授業展開の過程における生徒、教師、教材の3要素のかかわり 2 授業研究、生徒の立場に立った授業展開 <ul style="list-style-type: none"> 基本的な指導技術 生徒の実態に合った教材・教具の開発 	※教科指導教員との連携のもと、実施する。	教科別研修
21 37	成績不振生徒の指導(1)～(2)	成績不振の生徒には、適切な時機における指導・助言が必要である。面接等により、生徒とともに学習を阻害している要因を探ってその除去に努めたり、学習の内容、方法についても指導・援助することが大切であることを理解させる。特に、(2)では、単位不認定や原級留置等の事態を起ささないように指導するとともに、保護者の理解と協力を得ることの大切さについても理解させる。	<ul style="list-style-type: none"> 成績不振の生徒の理解 出席状況（遅刻・欠席・早退・欠課）の把握 学校における生活状況の把握 教科担任（ホームルーム担任）との連携 家庭における生活状況の把握（家庭との連携） 生徒理解に立った指導・援助 授業展開の工夫（興味・関心・意欲） 個別指導の必要性の理解 将来に対する目的意識の醸成 学習内容と学習方法の工夫 (1) 1学期末考査、夏季休業に向けての指導・援助 (2) 2学期末考査、冬季休業に向けての指導・援助 	内規集	テーマ別研修Ⅲ 「保護者との関わり方」

4 学校研修(一般研修)選択研修項目例

番号	項目名	ねらい	参考資料	機関研修項目
1	読書活動の推進	「子どもの読書活動の推進に関する法律」の施行や「彩の国5つのふれあい県民運動」の趣旨を踏まえ、豊かな人間性育成のための読書活動の意義を理解させる。	学校、家庭、地域が一体となった子どもの読書活動推進についての調査研究(総合教育センターHP調査研究報告)	全体研修Ⅶ 「教科指導における学校図書館の活用」
2	プレゼンテーション能力の向上	言葉を大切にできる意識・関心を高め、豊かで適切なコミュニケーションの能力や自己表現力を育成する。	I C T活用教員研修に関する研究(総合教育センターHP調査研究報告)	全体研修Ⅶ 「心に響く話し方」
3	ボランティア活動・福祉教育の実際	ボランティア活動の意義と指導上の留意点について、理解させる。特に、福祉教育については、今日的課題として、体験活動の実際を踏まえながら研修させる。	ボランティア・チャレンジプロジェクト実践報告書(H25県教委)	全体研修Ⅵ 「埼玉の社会福祉の現状と課題」
4	学校経費及び県費外諸費に係る事務処理の実際	学校運営に係る諸経費及び県費外諸費会計の適正かつ効率的な執行及び管理について理解させる。	埼玉県立学校県費外諸費に係る会計事務取扱要綱(H16.3県教委) / 埼玉県立学校県費外諸費に係る会計事務取扱要綱の運用方針等について(H22.3.23 教県1745号) /	
5	生徒募集の実際	適正な生徒募集の在り方について理解させる。	埼玉県公立高等学校入学者選抜要領等	